

ナシ病害虫の発生状況（10月上旬）

（1）ナシ黒星病

発生ほ場割合は、中通りで平年並～やや低い状況でした（図1）。

秋期防除は、翌年の伝染源となるりん片への感染を予防するのに重要であり、特に、りん片生組織の露出が多くなる時期（10月上旬～11月上旬）が重要な防除時期となります。薬剤散布は、落葉率80%頃を最終散布の目安とし、オーソサイド水和剤80 600倍を当該時期に2週間間隔で2～3回散布（キャプタンの総使用回数に留意）しましょう。

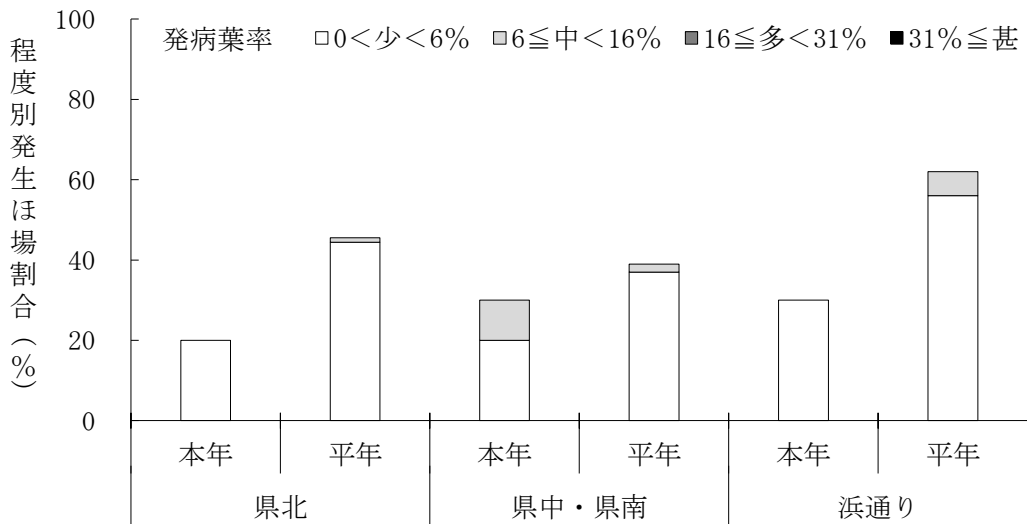


図1 ナシ黒星病の新梢葉での発生状況（10月上旬）